

1. 件名：「東芝エネルギーシステムズ株式会社による使用済燃料貯蔵施設に係る特定容器等の設計の型式証明申請に関する面談について（53）」
2. 日時：令和2年9月23日（水）13時30分～14時20分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）
4. 出席者：
原子力規制庁
原子力規制部 核燃料施設審査部門
尾崎安全審査専門職、田口安全審査専門職、森野安全審査専門職
東芝エネルギーシステムズ株式会社
パワーシステム事業部 原子力福島復旧・サイクル事業部
プロジェクト第一担当 主務 他3名
5. 自動文字起こし結果：別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む場合があります。
6. その他：
資料1 RS-5225286_R1_TS-69B 型式証明 設計方針概要

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:06	はい。
0:00:07	皆さんの出席者の確認でよろしいですか。はい。出席者は今日江戸川剖検担当だったんだと思い、うちのプロジェクトの水ですから
0:00:22	私は思いますが少ないですが、こちらのほうでそれだけのためですね。はい、何かありますのでよろしくお願いします。
0:00:34	じゃあ早速なんですけど決算送っていただいた。
0:00:39	資料で、
0:00:41	とりあえず 4 機能はもう個人、
0:00:44	一つは、
0:00:48	はい。
0:00:50	あくまでもとしているのがいいという。
0:00:57	タグチです。そうしたらです。はい。遮へい以降なんですけれど、ちょっと文言がですね、ちょっとおかしくないかなと。
0:01:12	もう二つの 3 ページの遮へい見ていただけますか。
0:01:18	配置図
0:01:20	一番下の曜日けど、設計されているっていう言い方になってます。
0:01:27	4 ページ以降も同様な言い方になっておりまして、それは御社から見ると設計するということ。
0:01:37	それはないかなと。
0:01:38	いうことでちょっと考えていただきたいなと修正考えていただきたいと思っています。
0:01:47	印象ですけど、今のお話ですと臨界をさ、我々として表現としてはされたからされているというふうに使ってますので、こちらもあわせて確認しなさいというべき相見積もりました鉄塔臨界がですね、何々とするって書いてある種、
0:02:06	なので、そこにかと思ってるんですけど、臨界に
0:02:12	僕、
0:02:14	公務概念とするとなっているから、その表現のほうがきずなんなりました歴史、
0:02:23	はい。
0:02:26	これも含めますとですね。
0:02:29	すいませんオザキで止水点ございまして、
0:02:34	これ三条のところの 2 ページのところなんですけど、
0:02:40	商業機密のところの場所に場所ですね、ここはできれば我々としてその審査書に書きたいと思っております、ここの内容っていうのは、そのまま林業を外していただけないかどうかっていうのは、

0:02:56	再度御検討いただけないでしょうか。だからこのページにつきます。
0:03:03	建屋のじゃないか危惧してそこを外すというようなところ判断して
0:03:12	新車を用意するよういたします。はい、ありがとうございます。基本的にはその9条以外のところはもう大体そのあるイシューベースって書いていただいたので、我々も問題ないかなと思ってますので、今日はもうちょっと具体的に柱状の緑等についてですねちょっとご相談立てて、
0:03:32	いただければと思います。詳細ちょっとモリノのほうから説明いたします。
0:03:37	モリノです。9条なんですけど、まずこの枠内のところからちょっとやりたいなと思ってんですけど。
0:03:45	ただの本来考慮する荷重なんですけど時充当内圧と熱荷重等を考慮し設計するとともになってるんですけど、まず組み合わせる荷重っていうのは、時充当それのないやつで発生する。
0:04:02	応力等、それと熱荷重、
0:04:06	それと、
0:04:12	これらの貯蔵及び搬出において想定される事象及びその地震により生ずる荷重等なんですけど長等が多すぎていて何組み合わせだっっていうのは結構案内んで、あれベースの層厚添付資料と同じような感じですね。
0:04:27	まず登場する荷重を終わん想定する荷重がこれですよっていうのをまず
0:04:33	学べて会議いただくっていうのと、それと、
0:04:40	それに対する許容値を変えて欲しいなっていうところなんですけど。
0:04:48	今回この考えてる結局あのかちゅうて。これで全部何でしたっけ。まずそこからですけど。
0:05:03	はい。
0:05:08	非
0:05:09	はい。
0:05:12	ITB荷重を想定している組み合わせているかという組み合わせているっていうか、それは停止中圧力へ熱活性に改定時荷重と地震の地震ですね。
0:05:29	現それらのPRAに関してはキャスク構造規格にのっとって皆さんてます。
0:05:38	一応型式証明上は何かそのキャスク構造規格が出てこないんで、まだ租税をそういうふうにとっと思って考えているっていうこともわかるんですけど、まずそれを全部Tableみたいな感じで載せていただいて羅列していただきたいなっていうのがあって、
0:05:57	あとそれと貯蔵及び搬出において想定する事象によって生じる荷重なんですけど、それらの中に入ってるか週っていうのは、他のなんていうんですか。他の° ませんこのあれフェイスみたいなと同様に何か

0:06:15	発生ちょうど同時を及び搬出において想定される事象によっては生じる荷重の中にその自重とかないやつとか熱かちゅうっていうのはおそらく込まれてないっていうことでいいん。
0:06:28	うんですよねこれは、
0:06:32	安全施設で貯蔵に
0:06:37	一応RSのときは、那珂市荷重とかそういうのはもう全部イナート貯蔵中に発生する荷重とかそういうとか搬出Ⅱ、
0:06:49	とかその取り扱いいい状態で発生する荷重っていうのは全部層厚から抜いてもらって、その作業において特別に発生する荷重だけ上乗せしてもらってという考え方で一応か10年と言わせてもらっては一定でそれぞれの
0:07:05	取扱とか貯蔵時貯蔵とかの状態が発生する荷重というのはそれぞれこれとこれと組み合わせて、その期間がどれぐらい長いから、Ssと組み合わせるとかSDと組み合わせるとか静的地震力と組み合わせるとかっていう、
0:07:22	そういうふうには最後は落ち着くようにしてもらったんですけど。
0:07:27	これも東芝においても同じ考えていうふうにもうしちゃっていいですか。
0:07:39	市町村の時だけっていうそういう形であげて、例えば払いつつ、あと可搬乳児のいわゆる取り扱い状態にあると考えてその三つの荷重形態っていうのはLと今回の申請には入れないというふうな取り方ですか。そうではなくて、それぞれも入るのであれば、
0:07:59	先ほど言った表ページの中についてこの分野なさいっていうふうなやり方がきちんとかちんとすみません、我々として取り扱い状態参入とかクリアす事業というのが荷重っていうのはその状態を維持しておりますので、そういったものを
0:08:19	要するに見積もられば、その表のそういったものも見えてきなさいっていうふうなとり方ですそうですねウソウもうパッケージそのものを書き方で結構なんですけど、その挙動を添付の中には入れてくれっていうところまではこちらとしては要求はしないと無理なので、
0:08:40	あるような崩壊すればいいなと思ってるんですけど、今すいませんちょっと点数を
0:08:45	ちゃんと確認。
0:08:47	しますけど、添付ん中にはどういう書き方になってたんですけど。
0:08:53	その表形式で入っているんですけど。
0:08:57	はい。
0:08:59	本間課長。

0:09:04	だからベント妥当たら中海組み合わせ荷重に対して何かもう快適してやるだっ たじゃないかなという気がして、法務的な肉やってるだけっていうのがわか んなかったと思うんですけど。
0:09:16	まとめにはそこ全部ふやした形の書き方につきましては、そうですね。
0:09:23	なので、またまとめはそれでいいんですけど。
0:09:28	添付
0:09:30	の点、
0:09:32	の-1Cの
0:09:36	うーん。
0:09:38	うちの9の下の構造強度のところのエントリーする荷重っていうの想定する荷 重組み合わせる過剰はこれとこれとこれですっていうのですねちゃんとできて 欲しいなと思って今分の1分の中に○まとめて書きちゃっているの、そこは ちょっとありづらい。
0:09:58	というような制度等の中に入るのが結局わからないので、
0:10:02	そういうもので
0:10:06	まだちょっとわかりわかりわかるようにして欲しいなっていう
0:10:11	組み合わせる荷重とおっしゃってるのは、地震と組み合わせるかということで 注いだけどね。
0:10:20	それでいいますと、わかりました。その地震時の評価というのに対して、どうい うものが組み合わせさっているのかというのをここに明記するというふうな御指摘 だすねそうですねはい。
0:10:33	今我々としては貯蔵時それから取り扱いという形で数字を出しているんですけ ども、その点につきましては合併等、こちらの第9条の説明のところには不要 であるというふうな認識でよろしいでしょうか。
0:10:48	そ第9条のやつっていうのは当行点検等の後ろのほうでしたっけ、四角のほう ですか、各学校MEの八つのお話をされてます今ニセコはあ本当今ずっとほう の評価をする。
0:11:06	ちょっと今、今日いただいている資料がなどの本文の添付の
0:11:15	ちょっと関係が何か逆転しちゃってる感があるので、ちょっと永代
0:11:23	ううんと考えますけど、本文の書き方としてはですね、本文に入れていただくの はもうこういう自重的なやつに使っちゃうと、考慮し云々かんぬんでいいと思っ ていて、
0:11:37	このキャスク構造規格に基づき設計するっていうのも本文レベルだと多分いら ないと思うんですけど。

0:11:44	なんで四角囲みの記載ぶりでもいいんですけど、少なくともその添付のところにはじゃん等への組み合わせ荷重の内訳をちゃんと書いて欲しいという意味意図なので。これ今isよね四角の外側に本文の記載が出てきてるんですよ今。
0:12:03	通りです。
0:12:08	ちょっとその辺の四角囲みの中でと言われるとちょっとそこはイエスとは言えないんですけど、少なくともこの四角の内容ぐらいで本文はいいですっていうのがまず一つと、それと、今この四角の中に入っているこの添付の記載事項のところはもうちょっと拡充してくれと。
0:12:25	いうのをね、のお願い二つ。
0:12:32	これはもうちょっと、そして、もう1回と店舗のところなんですけど。
0:12:38	これ望むさっき言ったの1-9
0:12:41	もうどこに書くちょっと構造強度の話もちょっとぐちゃぐちゃになっちゃうんで、ちょっと或いは形式が違うんだけども22室にシリーズの心の
0:12:53	2シリーズの2の2-9ページ、この1.9地震による損傷の防止のところで、この要求事項に対してはもう何を考えてるんですかというのを整理していただくと良いと思うんですけど。
0:13:09	当庫側の型式証明なんで、加速度しかないですよと水源を1.4Gと鉛直方向の0.93時しかないので、
0:13:21	まだこれからこの加速度から地震力を算定するんですけどっていうことをちゃんと書いて欲しいと。
0:13:37	委員の方、今のは抵当この添付の2の部分の文章の中に加速度を使って地震力を設定し、それで評価を行うっていうふうなことを、具体的なさいと、例えば、はい。
0:13:53	まずこの1.4G棟0.93Gを用いての加速度を用いて地震力を算出します。そして地震力の範疇で使えるように、
0:14:09	使えるようなかも施設のところに使用済み燃料、
0:14:15	貯蔵施設に使えるようなその設計とする。
0:14:19	いうことをまずまとめていただいて、
0:14:24	そして、その次の静的地震力とか、動的地震力のところを今まで離れフェイスをあえてだと思っんですよ。審査長ご覧やっていただければわかると思うんですけど。
0:14:40	はい。
0:14:51	はい。
0:15:08	はい。

0:15:09	そう。
0:15:19	店舗かけていたそうですね、ちょっと手元であれば、
0:15:26	すみません、審査書でいうところの、これとしてお尻でしたっけ、通しページのぼん違うかもしれないと54ページを見ていただくといいんですけど。
0:15:38	53から54ぐらいを見ていただくのとよくて、こういうのがその地震力っていうのを施設側で判定しますと、
0:15:48	いうことになって、
0:15:49	13から54。
0:15:53	多分室ですかね、審査書のほうの通しページがなくて、パブコメの錯綜ですと青※6に有効な方法ですか。
0:16:07	項目でいうと、サポート追加くみ上げ等です。
0:16:13	4ポツ赤字の組み合わせるとこなんですけど、すみません。ちょっといっぱい
0:16:22	ちょっと相談あんですけど、相談というか考え方の整理なんですけど。
0:16:29	1.4時等0.93事例、その使うその地震力を持ってたんで算定した加速度括弧で目地震力を使って設計しますと言って、
0:16:43	これがこれを使って、
0:16:50	その使用済み燃料貯蔵施設に入れませんか。
0:16:54	そんで、使用済み燃料貯蔵施設で設定されてる S_s とかSDとか静的地震力
0:17:03	に対して耐える設計だっということ
0:17:06	体力測定できるよっていうことを、ここの御社の申請書の2-9ページの1.9の地震による損傷の防止のところでもとめていただきたいっていうことが、
0:17:27	はい。
0:17:30	そうするとその証明でここまで書かれていて、ほんであのこの証明で使える範囲っていうのが、パートナーの加速度とかで縛られているので、
0:17:39	その実際に使用すると例えですけど、そのRMSの、この申請書のところに、このキャスクをそのまま投入逆の設計をそのまま購入して、
0:17:52	確かに基準地震動に対しても弾性設計用地震動に対しても、静的地震力に対して方向よう設計でおなじ設計方針になっている。なお各今回のこのTs-69BPOのその使用できる範囲でなかったこととして、
0:18:08	縛られていて、その加速度が、
0:18:11	RFSのそのSAⅡの対応基盤表面から求まるその一えーと加速度から算出された、その床応答のなかったことと比べても等の設計条件な範疇の中におさまっているっていう
0:18:29	ただつなぎDOですね、したい。
0:18:34	採決

0:18:37	添付資料 2 の中で聞いてあげておきたいということです。どうぞ。
0:18:44	何で新たに削減していただく必要っていうのはほとんどなくて、基本的なあるベースとおなじことをそのまま書いていただいて、ただ御社のtsr69Bが使える範囲がこれだけだっていうのを頭のところに付け加えていただければそれで結構なんで。
0:19:03	はい、わかりました。
0:19:16	あれですね、今後、
0:19:21	例です。診断を先に意見を述べられない。そうですね。
0:19:31	例えば、
0:19:33	とりあえず後、今聞いてきてなかったらまた問い合わせさせていただければ結構なんで。
0:19:40	はい。
0:19:41	はい、わかりました。ありがとうございます。
0:19:47	荷重の組み合わせは多分それで解決するはずなんですけど、あの地震力の算定っていうのは、結局入れたよね。この一遍 40 分 0.93Gもう定例的な方向で
0:20:03	1 部分を抜き出してきてねそれで地震力を算定するっていうことだから、これは、
0:20:10	どう解析の補正解析でも両方どっちにも使えるっていうことでいいですし、でしたっけ、これ確認なんですけど。
0:20:19	はい。
0:20:21	そんせい研究でもあろう的でも、いずれも所地震力を入れて評価を行ってますということですよ。
0:20:31	はい。
0:20:33	ちなみになんですけど、このなんですか。実際に施設中に入ると導体的だと入力した後にまた項があっっていうのが今幾つか何かそのモードをとって 56 号炉ぐらいまでとる思うんですけど。
0:20:50	そういうのも加味しても、この 1.4Gで収まっているっていうことでいいんですけど。
0:20:57	その他のとり方によりますけれども、そうですねっていう感じの考え方という意味合いではあります。ですから、ちょっとその実際の系統の中にも書きましたけれども問題といったものを踏まえた形になっていると思うんです。
0:21:16	ただ等をちょっとご覧すみません実際多く場所の実際もうそれで正しいかどうかの方々のわからないんですけども、我々は考えていることができるんです。わかりましたじゃ使用できる範囲のところをもうちょっと拡充して、

0:21:36	もらったほうがいいと思うんですけど。
0:21:40	本文のところの使用できる範囲っていうのがあると思うんで。
0:21:44	5 ポツのところのやつで、
0:21:48	地震力に対して思わぬとこに化 2 ポツのカタカナの 2 のとこなんですけど、地震力生い立ち概ね弾性状態にとどまる範囲で耐え得る設計であることっていう
0:22:01	マニーとか、この辺だと思うんですけど。
0:22:05	この辺ですわね、なんていうか、濃度 1.4Gとかっていうのも、同斜の設計の中で見ての範疇で僕設計になってるっていうことしか多分証明の中でいないと思うので、
0:22:20	そこからはっきり記載に設置した。
0:22:24	その施設内に設定したときの応答性状かっていうのは、その施設側のほうで箱に移るとか、
0:22:33	ですねそういうふうなことの条件設定っていうのを追加していただきたいと思います。
0:22:48	これは今後の 5 ページのとこですね。
0:22:53	はい。
0:22:56	施設側でやるべきところというところについてということです。はい。
0:23:04	はい。
0:23:06	地震力地震力地震力してください。° 耐震設計のところ、施設側でやらないといけない。その構造評価のところ、いいと基本的にはもうそこだけになるということ、考えてよろしいですか。
0:23:26	実際に何か施設施設の固定状況とかじゃないと、どう解析ではあれじゃないか、実際のモードっていうのはわからないので、そういうところはもう施設側のほうで使用する施設側のほうで提示するっていうところ以外は、
0:23:44	照明御社のその証明の申請書の中で完結
0:23:48	出してるっていうふうにも考えてよろしいですか。
0:23:52	TITANをなんか意義そのものの取り合いとかその部分は今この 5 月まで通りの施設がもう決まってそれは実施するものと、いうふうな言い方をさせていただきますので、それ以外の固定方法とか、そういうのは輸出で入る時期もそちらっていうか、
0:24:11	布設替え後からやるものという認識です。わかりました。じゃあそれは大丈夫ですね。
0:24:19	その部分のすぐ出せるんだったらそのPRや課題の固定固縛とかそういうキーワードを入れるべきだから入れておきます。
0:24:29	うん。

0:24:54	すいません 1 ポツのところ、待とう縦置にあるとかとら日本語だとかっていう条件が入っているので、
0:25:04	例えば 2 ポツのところそこまで細かくは大丈夫です。
0:25:09	わかりました。はい。いたしましたので、少なくともどう解析でやれる、やれないと、もう設計が完結しないところは施設側でやる、やることっていうのは、あんたまとめておいていただきたいなと思いますけども、
0:25:25	固定方法であるとかそこまでは上の 1 個ところに入っている、それは結構です。
0:25:33	はい。
0:25:37	委員長。
0:25:41	いやいつ
0:26:39	すいませんね加速度とかのところなんですけど、今度にはもうどれぐらいの条件、加速度だっていうのはも 1.4 と 0.93 点を具体的に書かれているので、添付の 3.5 のところではとくに。
0:26:56	要らないかなと思ってはいるんですけど。
0:27:00	ここでは何かどういうどういう設計するんだってあの方針だけ書いていただければ十分伝わりますので、
0:27:06	わざわざ加速度までいらぬかなと考えています。そして、
0:27:12	移行していただきたいんですけど、この鉛直方向の 3 時つつうのは、
0:27:17	これは、
0:27:20	この参事というのはいけぬ団地なんですけども 1 回説明いただいてよろしいですか。
0:27:26	次に、これはですね取り扱い時の幹事をこれ代表して書かせてもらうというふうなね取り扱い時の荷重なんてね取り扱い時に鉛直上向き参事かかるんですかこれ。
0:27:37	というのは今回代表で除しているけど強化対策してございます。30 までかかってても大丈夫で評価をしているというそういうことが実際に実績、実際にというふうに考えているべき部位の
0:27:55	° なんていうんですがその設計上のその実力として担保できる範囲はここまでだっていう意味合いで書いてるところですね。さようでございます。
0:28:04	なるほど、わかりました。
0:28:07	高齢のこの 3g なんですけど、これで構造材ほどの添付のところ 2 しか入っていないんじゃないかなと思うんですけど。
0:28:19	これはこれなんで店舗だけでいいですっていうそこは何か考えるんですけど。

0:28:28	を弁の方に入れなくてよいのかということですか。うんというか、うん、そうな顔をイヤホンに入れろって言い入戸じゃないんですけど。
0:28:37	本文にないのに何か添付 2-9 に何か鉛直方向参事のやつで出てくるっていうのはすごい何か唐突感と違和感があって、実際にkAとまとめ資料のほうで、
0:28:50	届けて目白か補足説明資料で阿蘇山に対するあれが計算結果とか出てきてるんですけど、そのときにはその取り扱いの何かのモードを想定して実力ベースでやってるんだらうっていうのは、そこを見て何となくはわかるんですけど。
0:29:07	これらの審査の構成上位よくわからない数字が急に出てきてるっていう状況なんで。
0:29:13	0mを添付-1 シリーズじゃなくても何か活動になったらもうチーズのところでも実力的にもここまで想定してやるんだというので。
0:29:24	そう四角囲みの後ろのほうのこの 2 シリーズのどっかに
0:29:29	入れたほうがまだ
0:29:32	まだわかりやすいんじゃないかなと思うんですけど。
0:29:36	はいってないのは押すあのご指摘ルール通りにいわゆるこのケーブルしか求められてるの規則での容器の中から直接書かないっていう意見がございます。ちょっと等々使ってしまったっていうのはあります。率も、
0:29:52	操作日本だけじゃないので。
0:29:55	はい、ではないですよっていうに対しては指定等でもその通りだと思えます。そうは言ってもいわゆるお金搬出搬入の状態においても答弁される事象を一つとしてやってございますので、程度グリッパ構造に関する設計方針のところ、
0:30:15	こういったことを考えてるというキーワードを言えとさせていただくというので、ブローでいかがでしょうかね先ほど正確にまず指針の適用と 0.93 万Lから要らないんじゃないかですなちょっと質問もやってますっていうふうなことがいえるかもしくは
0:30:35	イの本部から全く取ってしまっ、資料の中に残ってるという状態にさせていただくか、
0:30:44	そうなんですよねえ。何かちょっと
0:30:53	ただし、
0:30:53	ここ。
0:30:56	。
0:31:11	はい。
0:31:13	はい。

0:31:24	いや、
0:31:29	。
0:33:39	すいませんちょっとお待たせしてしまって、
0:33:42	本文のところのその他の中央構造のところ、その中取り扱い時の長さの荷重荷重と設計の考え方っていうのも一応確保で配置してはいるんで。
0:33:56	うーん。
0:33:58	それとの関係で、参事がちょっとポートつつあるとは言いましたけれどもこれがここに添付-1の中に残っていることを
0:34:07	そこまで
0:34:09	何か
0:34:11	今感があるっていうわけであるというふうにもだってできないんで、これはこのままで、
0:34:19	のままで大丈夫です。
0:34:22	はい、ありがとうございます。
0:34:24	あと時云々と耐震設計のところはそう地震力と荷重組み合わせと許容値の話が一通りそろえば、大丈夫だと思いますんで。
0:34:36	なかなか
0:34:38	これがあと何かこれ書きたいんだけどとか、そういうのがあれば、
0:34:51	伺いますけど。
0:34:53	御苦労には一寸こちらから特にありません。わかりましたじゃあの今のラインでちょっとまとめていただいて、
0:35:03	はい。はい、それでまた
0:35:08	そうですね。また面談するなり、この補正に向けて準備していただければいいと思いますんで。
0:35:21	みんな地元なそうですね、ちょっと改めて地震のところの、今回いただいたコメントを踏まえて、確定とそこのところにつきましては文案をちょっとずつ準備いたします。それでちょっと確認をいただければと思いますので、
0:35:39	わかりましたじゃそれはそういうふうにしたいと考えますんでよろしく願います。
0:35:47	やっぱそれロジックお願いいたします。
0:35:56	今日はとりあえず、こちらから伝えないといけないことは待った駅北かなと思うんですけど、何かそちらから確認とかあれば、
0:36:09	要はですね。
0:36:12	特にございません。はい、わかりましたじゃあ、本日はこれまでということでありがとうございます。

0:36:19	ありがとうございました。
0:36:26	いたします。
0:36:32	っていうか、
0:36:36	よろしいですか。
0:36:44	それから、
0:36:48	うん。
0:36:49	修正。
0:36:51	作って、
0:36:53	で、
0:36:55	次に、とりあえずなそのまま地震力のところと、時とところだけ耐えられたんで。
0:37:02	それをもとに、
0:37:05	実際公開されてるあれフェーズのやつは、本当にすごいいい加減なつくり指定案ぐらいのコピーだったら、
0:37:13	誰ができるような心配は一応かけ
0:37:18	補足検討って一体。
0:37:21	もうそもそもそれはそれでいきます。
0:37:25	実際宛取り扱い時の荷重のどこなんて地震じゃない。
0:37:29	事務局、
0:37:31	以前の供用企画規格で伝送出てくるのは、
0:37:38	ちょっと
0:37:41	先週確認したときに青山課長同時に発生する荷重ないとか言ってたんですけど、やっぱ結局ちょうどいて、
0:37:51	はい。
0:37:58	ちなみに参事でテナント何が起こった感じ発生つつう筋合いばんで、トップと取らにやのところに集中的に差別であって、
0:38:11	別に
0:38:13	ちょっと整理していく。
0:38:16	そうですね、2 項関係や風化、
0:38:24	1 件で、
0:38:27	逆に使って、そういうことですね、地震で起きて
0:38:34	それを
0:38:37	人手計算どんなに頑張っても 1.1 ぐらいしかないけど、なんでこんなの発生さそれは、
0:38:44	書いてあるということです。
0:38:48	そういう意味ですか。

0:38:56	これって、それについて何かに
0:38:59	マニーなんです。
0:39:02	それから、
0:39:04	以上の設計で一番
0:39:06	本番変更。
0:39:09	事故異常タクシーもう一歩と提携企画したり、
0:39:21	で、
0:39:22	それについても、
0:39:26	はい。
0:39:32	そうだな。
0:39:42	そして、
0:39:44	住宅を
0:39:50	づらく、
0:39:53	もう位置付けて、
0:39:56	うん。
0:39:59	うん。
0:40:07	はい。
0:40:14	これってあれです。
0:40:16	窮状後からはやっぱり組み合わせる必要のある
0:40:20	単独の事象ということで、
0:40:23	6、
0:40:26	うーん。
0:40:34	もう一つ、
0:40:37	保安規定。
0:40:38	それに対して、
0:40:43	そうですね。
0:40:45	各とか、
0:40:49	例えば税金
0:40:53	報告
0:40:56	大体、
0:40:59	ということなので、そういう体制と
0:41:04	Hpの既存店。
0:41:09	ただ、
0:41:10	起きてても、
0:41:17	もう

0:41:19	はい。
0:41:24	今後も根本の理由から、もう
0:41:28	でも、
0:41:30	審議した。
0:41:46	はい。
0:41:47	とにかく今の申請者の方から少なくとも中のその地震起因で発生するのは何かをちょっとそれだけのほうで、
0:41:58	よってもってきて、やっぱりで審査書を書かないといけないっていうそういう申請書のつくりになってるっていうのはしょうがない。
0:42:05	しかし、
0:42:07	うん。
0:42:10	そうだと思うんですが、麻生の相似地震地震についてはっていうかそもそもキヤスクを取り扱って調査する上で何か考えなきゃいけない事象というのはこうですよね。14 条的な話があって、
0:42:26	そん中で、それぞれについてばらけていることじゃないのね、でもそこはないんだけど。
0:42:37	困って、
0:42:39	そういう
0:42:46	ましようかね。
0:42:49	終わりましたら、